

事業番号	09 04 02	事業改善シート (25年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	皆で取り組む園芸振興事業				担当課	部局	農政部	
						課・室	園芸畜産課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			実施期間	H17 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	行政・研究・生産・流通・販売団体等が組織横断的に連携し、相互の英知を結集しながら生産振興に係る広域的な課題や重点的に取り組むべき課題、その他消費者からの求評等の各種課題等に対し、協働して一体的な体制で取り組むことにより、競争力と収益力の高い園芸産地の育成を目指す。		
現状	長野県の園芸作物(果樹、野菜、花き、きのこ)は、県農業産出額の70%(平成22年度の園芸作物産出額1,942億円、全国第4位)の主要部門であり引き続き生産力の維持が重要な課題となっている。特に、園芸作物の生産において、多様な気象条件を有する県土の利点を活用しながら、重要な生産課題を設定し構成団体が力を結集して解決につなげ生産力を維持することが重要である。		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 園芸振興に効果的な施策を展開し、県民の主体的な参画と協同を促す。	
	県民との協働による実施：可能	第2期長野県食と農業農村振興計画	

事業内容	① 成果目標 (H25)					
	<input type="checkbox"/> 果樹: 早期多収・省力栽培技術の推進に向けた研修会 3回、新品種の消費者求評 2回 <input type="checkbox"/> 花き: カーネーション等の出荷量・品質の向上に向けた技術実証ほ 9カ所 <input type="checkbox"/> 野菜: 収量性向上モデルほ場の設置 21カ所、アスパラガス・果菜類の生産振興に向けた研修会 6回					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初)	H25 (決算)
	県オリジナル果樹品種等の生産拡大及び消費と連動した生産振興	補助金	りんご、ぶどう等新品種の検討会開催ほか(研修会 5回、求評会2回) 補助先(長野県園芸作物生産振興協議会)	1,537	1,537	1,537
	高品質な花きを安定生産するための生産・流通技術の導入	補助金	カーネーション等の品質・生産性向上に係る現地実証ほの設置ほか(実証ほ10カ所) 補助先(長野県園芸作物生産振興協議会)	563	563	563
	野菜の品質の向上及び多品目化等実需者が求める生産の推進	補助金	アスパラガス、果菜類等の品質・生産性向上に向けた研修会の開催(6回)、優良品種選定に係る現地実証ほの設置ほか(実証ほ22カ所) 補助先(長野県園芸作物生産振興協議会)	1,130	1,130	1,130
	合計			3,230	3,230	3,230

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算	3,977	3,590	3,230	3,230
	補正予算				
	合計(A)	3,977	3,590	3,230	3,230
	国庫支出金				
	県債				
	その他( )				
	一般財源	3,977	3,590	3,230	3,230
	決算額(B)	3,977	3,590	3,230	
概算人員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	
概算人件費(C)	2,477	2,477	2,477	2,477	
概算事業費(B(A)+C)	6,454	6,067	5,707	5,707	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26 目標
		目標	成果	達成状況	
果樹早期多収・省力栽培研修会	3回 80人	3回 100人	5回 160人	達成	5回 180人
果樹新品種の消費者求評	2回	2回	2回	達成	-
カーネーション等の出荷量・品質の向上に向けた実証ほ	7カ所	9カ所	10カ所	達成	13カ所
野菜収量性向上モデルほの設置	21カ所	21カ所	22カ所	達成	23カ所
アスパラガス・果菜類の生産振興に向けた研修会	6回 380人	6回 430人	6回 484人	達成	6回 450人

目標に対する成果の状況	競争力と収益力の高い園芸産地の育成に向け、目標どおりの取組ができた。
-------------	------------------------------------

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	競争力と収益力の高い園芸産地育成に向け、広域的な課題に対し重点的に取り組むなど、今後も現行どおり実施する。